

製品名: CD319 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82675**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.4kDa

抗原情報

遺伝子名	CD319
別名	19A; CS1; SLAMF7; CRACC
遺伝子 ID	57823.0
SwissProt ID	Q9NQ25
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD319 (AA: extra(23-226)) の精製組換え断片。

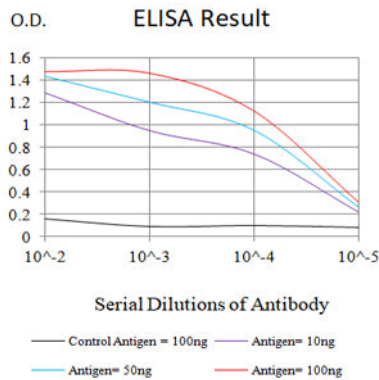
背景

シグナル伝達リンパ球活性化分子 (SLAM) ファミリーの自己リガンド受容体。同種または異種の細胞間相互作用によって活性化される SLAM 受容体は、多様な免疫細胞の活性化と分化を調節し、自然免疫応答と獲得免疫応答の両方の調節と相互連携に関与する。そ

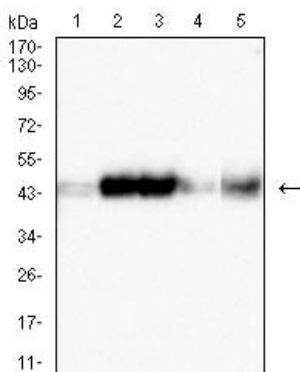
の活性は、細胞質内の小さなアダプタータンパク質である SH2D1A/SAP および / または SH2D1B/EAT-2 の有無によって制御される。アイソフォーム 1 は、SH2D1A 非依存性の細胞外シグナル調節性 ERK 介在経路を介して NK 細胞の活性化を媒介する (PubMed:11698418) 。リン酸化 SH2D1B に依存するメカニズムによって NK 細胞の機能を正に制御する。下流のシグナル伝達には、PLCG1、PLCG2、および PI3K が関与する (PubMed:16339536) 。NK 細胞と標的細胞間のヘテロ型相互作用に加え、NK 細胞間のホモ型相互作用も活性化に寄与する可能性がある。しかしながら、SH2D1B が存在しない場合には、NK 細胞の機能を阻害する。T 細胞においても阻害作用を示す (類似性に基づく) 。リンパ球接着に関与する可能性がある (PubMed:11802771) 。LPS 活性化単球においては、炎症性サイトカインの産生を負に制御する (PubMed:23695528) 。

研究分野

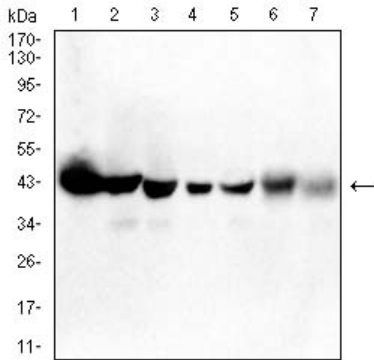
画像データ



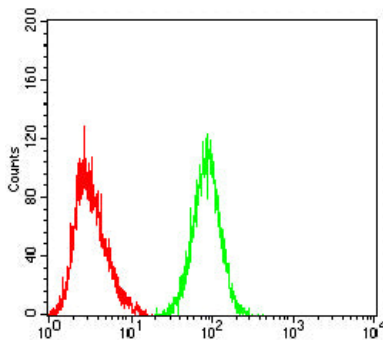
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



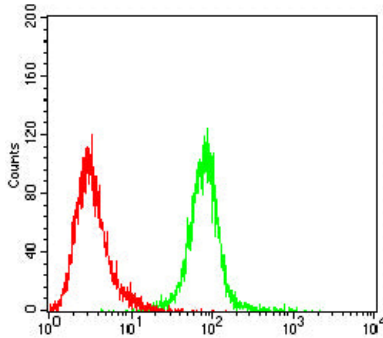
K562 (1) 、HL-60 (2) 、Ramos (3) 、Jurkat (4) 、および THP-1 (5) 細胞溶解物に対する CD319 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



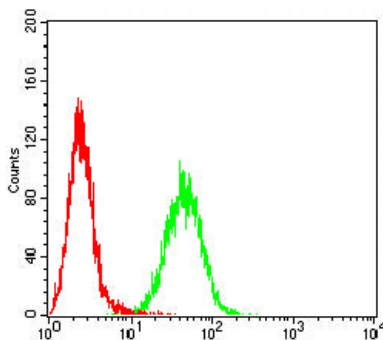
ラット肝臓(1)PC-12(2)Raw264.7(3)NRK(4)COS-7(5)HL-60(6)Ramos(7)細胞溶解物に対する CD319 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



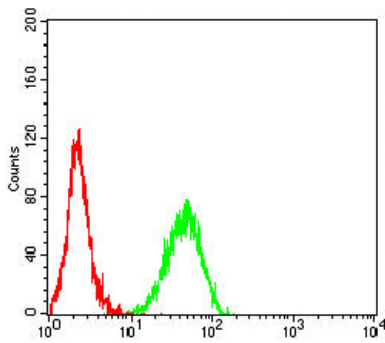
CD319 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



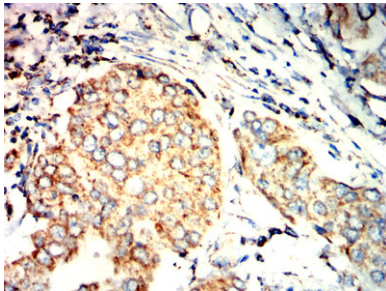
CD319 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した U937 細胞のフローサイトメトリー分析。



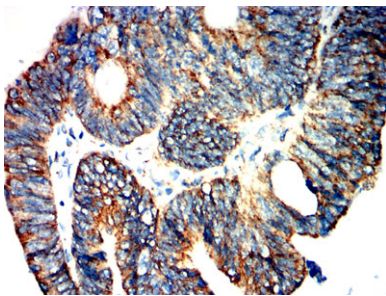
CD319 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD319 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MOLT4 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD319 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD319 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。